## ふれあいの場に

### ～コーヒーサロン開催･本店～

ＪＡ助けあい組織「いきいき会」は２月14日、年金受給日に合わせて、本店でコーヒーサロンを開催しました。地域に憩いの場を作ろうと、窓口へ来店した組合員や地域住民にコーヒーを振舞ったほか、会場には押し花などの作品展コーナも設置され、来店者は作品を鑑賞しながらくつろいでおりました。

白神山うどを受取る来店客㊧

年金受給日におもてなし!

女性部員の作品を観賞しながらほっと一息

## 白神山うどプレゼント

### ～年金感謝デー･二ツ井支店～

年金支給日に来店される年金受給顧客に対し日頃からの感謝の意をこめ２月14日、二ツ井支店では地元産季節野菜をプレゼントしました。

支店職員は来店者に日頃の感謝を伝え、笑顔で手渡しながら、「白神山うど」を紹介。来店者へ年金受給メリットをアピールするとともに、来店客の満足度を得ながら交流を深めました。

全国共済農業協同組合連合会 会長賞 佳作

能代市立浄城南小学校
6年 田 中 友里杏さん

全国共済農業協同組合連合会 会長賞 銀賞
藤里町立義務教育学校藤里学園
2年 安 保 奏 飛さん

## JA共済全国小･中学校 交通安全ポスターコンクール

令和６年度ＪＡ共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクールの受賞者が決定し、当ＪＡから２名の作品が入賞しました。コンクールは全国の各都道府県別コンクールにおいて金賞に選ばれた作品の中から各賞を決めるもので、全国から80,260点が集まり、当ＪＡからは各学年の金賞に選ばれた４作品を出品しておりました。受賞おめでとうございました。

## 早春の味が人気 ～白神山うどアピール～

特産の「白神山うど」を消費者に届けようと、農産物直売所「みようが館」で２月８･９日の二日間、「うどまつり」が開催され、収穫盛んな山ウドを安価販売し、〝春の味〟を消費者にアピールしました。

山ウドの消費拡大、地産地消を目的に行われたもので、「早春の味　白神山うど」の掲示やのぼりを掲げたコーナーには、富根ファームの山ウドをズラリと並べ販売。お薦めのレシピ集も一緒に配布し、来店者は次々と買い求め人気を集めておりました。

来店者の人気を集めた「うどまつり」

## 農閑期にスキルアップ ～野菜栽培講習会～

冬期野菜栽培講習会が２月上旬に開催され、参加者は「白神ねぎ」の作型ごとの品種選定や、栽培に適した土づくりなどを学んだほか、管内で栽培されている野菜全般の管理等について学びました。

同講習会は農閑期を利用して、野菜栽培知識向上を図り、安定した複合経営につなげながら農家所得の増大を目指して実施。

参加者は改めて栽培管理のポイントなどをメモにとりながら熱心に聴講し、今年度の栽培に向けて生産者間で情報交換をしておりました。

各標題について熱心に聴講する参加者

体操などで交流を深める参加者

## 地域とのつながり強化へ ～藤里支店がミニデイ～

藤里支店は２月20日、藤里町大沢地区の高齢者を対象に「出張ミニデイ」を開き、住民ら25名が参加しました。

支点を拠点とした協同活動の一環として、地域の拠点である支店と各地域のコミュニケーションを図るのが目的。今回は合唱や体操、ゲームなどを行い、高齢者の介護予防や体力づくりを行いました。

講師にはＪＡ助けあい組織「たんぽぽ会」のメンバーが務め、参加者は簡単な体操やミニゲームなどを楽しみ笑いに包まれておりました。

農家の軽トラックに種もみを積み込む職員

## 25年産米づくり始動へ ～水稲種もみ配布～

２０２５年の本格的な水稲作業に向けて、水稲種もみの配布がドライブスルー方式で能代集約農業倉庫を会場に、２月20日より配布されました。

25年産の作付け分から全量切り替えとなったカドミウム低吸収性品種「あきたこまちＲ」や「ひとめぼれ」などの種もみを、稲作農家が乗り入れた軽トラック等の荷台に、注文を確認しながら経済課ＴＡＣ職員らが積み込んでおりました。

ＪＡ管内では例年４月中旬頃から「あきた白神米」の播種作業が各地で始まり、春作業が本格化してまいります。